



Ferris University

2005 No.3

フェリス女学院大学同窓会会報



フェリスホール

《聖句》

愛には偽りがあつてはなりません。惡を憎み、善から離れず、兄弟愛をもつて互いに愛し、尊敬をもつて互いに相手を優れた者と思いなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 9～10節

おたより



理事長 小塩 節

学生とともに

学院長 岡野 昌雄

迎えました。皆様、どうか今後とも母校をあたたかく見守り、励ましお支えくださいますようにお願ひいたします。

私たちのこのフェリス女学院は創立のときから二つの大きな理念、理想のもとに築かれました。いうまでもなく確固たるキリスト教の精神と自立的な女子教育です。そしてこの建学の理念は聖書に基づく

For Others.

ということが結晶しています。「他者のため」、「他者とともに」、そして「他者の身代りになつて」といつた志がこめられて代々いまに伝えられてきました。この志を何よりも大切にしたいと願います。

無宗教化非宗教化、それでいて多神教的世界の広がりを見せる現在の日本でキリスト教精神を貫きとおし、其学に走る若者たちに女子大学の良さと大切さを訴えることの困難になりつつあるなかで、私どもはこの理念をけつして失わずに進んでまいりたい。

幸いにして皆様のお支えあって成ったみごとな「箱」に、内実である本物の最善の教育と研究を進めていくことが益々求められて参ります。箱だけ立派などということには断じていらっしゃいません。

どういうわけか、私らしくもない固いおたがいのものです。とくに一三〇周年事業募金と維持協力会のため、いまもあつよくお支え下さっている同窓会の皆様に心より御礼を申し上げます。

こうしてフェリス女学院は、山手にある音楽学部と中学高校とともに緑園キャンパスにおいても文字通り輝かしい新時代に向って歩み出したことになります。これまでの先輩たちの血のにじむようなご労苦を想いつつ、創立一三五周年を迎えた感謝と喜びのたよりとしてお受けとりくださいますよう」。



緑園キャンパスに新しい体育館が完成し、ほぼ中央の一〇号館跡地には広場も出来て、キャンパス全体が生まれ変わったような感じです。樹木が大きくなるとまた違った落ち着いた雰囲気が加わることでしょう。これで大学の施設建設はひと段落ましたが、大事なのは教育の内容であることは言うまでもありません。大学を取り巻く社会状況はめまぐるしく変わり、しかも厳しさを増しています。当然のことながら学院も大きな変革を迫られています。しかし、私たちは右往左往して浮き足立つのではなく、フェリスにとって大事なものをこれからも断固として守り抜き、フェリスらしさを保ち続けることが、このような変化の著しい社会でむしろ大きな改革になるのだと信じています。これらも皆様のご理解とご支援をお願いします。

大学教員を三五年間勤めたあとフェリスに来て、山手の本部で学院長の仕事に専念していましたが、今年の四月から半年間だけ週一コマ哲学の教養科目を担当しています。

二年間の空白のあと久しぶりの、そして初めてのフェリスでの授業でしたので、とても緊張しましたが、予想以上に(失礼な言い方ですが)外野席からいろいろと吹き込まれていましたので熱心で反応の良い学生たちに、こちらが救われた感じです。何はともあれ、学生を置き去りにしたような大学改革が進む社会の中で、フェリスという大学は、このような学生たちを大事にし、学生の立ち場に立つて学生の目線で考える大学でなければなりません。早目にキャンパスに出かけて、昼休みの礼拝に出席できるのも幸いなことです。僅かな時間ですが貴重な経験を与えてもらっています。

私たちの世代も六〇年代半ばになって定年退職する仲間が多く、また女性の場合には配偶者が年長のために既に家庭で経験していることもあります。同窓会で集まるとき老後の生き方について活発な議論が弾みます。余生などとは言えない長い第二の人生のことを考えると、学校教育の意味や役割をもつて考え直さなければいけないのかもしれません。これからは長い人生全体のことを考え方で、生きる上で何が本当に大事なことを考え、教える教育が求められ、学院の教育理念を守り続けることの大切さをあらためて痛感しています。先輩方から在学中の後輩たちへぜひメッセージをお願いします。

本学の近況について

学長 本間 慎



2号館の際に植栽されている「アンネ・フランクのバラ」が一際目立つて美しく平和な日本に微笑みをかけているの頃です。同窓生の皆さんには、「健健康康お過ごしのこと」と推察申し上げます。私も学長として一年を経過いたしました。この間、同窓会の皆さんには大変ご尽力を賜りましたことにお礼申上げます。

最近の大学の状況について一件ご報告致します。

最初に、エコ体育館が2月下旬に完成し、5月26日に奉納式が行われました。三菱地所設計の設計で、清水建設と相鉄建設の施工で行われました。約1,000m²の屋内メインアリーナとその他にサブアリーナや健康スポーツ関係の施設も整っています。地下にはシャワー室や事務室等があり、2~3階にはクラブ室や同窓会室があります。屋上はビオトープ化し、小さな池や植物が植えられています。他ウッドデッキで覆われていて太陽の照り返しによる温度上昇を防止しています。南側には、

太陽光発電とシヤワーの温水をまかなっている太陽熱温水器が設置され、壁面の一部は緑化されています。また、屋根に降った雨水は地下タンクに貯留され、夏に熱せられた屋根を冷すためにスプリンクラーで屋根に散水したり、地下にチューブを埋設して外気を取り入れ夏は冷し、冬は温められた空気を体育馆内へ吹き込んで室内の温度調節をするクーラーヒートチューブが設置されています。キダホール・緑園の側の斜面には「赤い風車のフェリス」に因んで羽の色が赤い風力発電が設置されています。これらの発電機が生産する電力量はリアルタイムに2号館にある電光掲示板によって表示されています。是非、ご来学の際はご覧下さい。

もう一つは、6月1日の創立記念日にアムネスティ・インターナショナル事務総長のアイアン・カーンさんを呼んで「女性への暴力をなくす」をテーマに講演会を開催しました。市民の方々が百数十名、外部の高校生も百数十名、本学の学生、教職員を含めて900名を超える人たちが参加し、講演を聞くと同時に熱心な討論も行われました。

何よりも目を見張らせるのは、最先端技術による環境問題への配慮がこの施設を支えていること。太陽光発電や太陽熱温水器の利用はもとより、雨水利用設備によるトイレ洗浄や屋根の散水(室温低減)、地中に埋めたパイプによる夏涼しく冬暖かい空気の供給(クールチューブ)、屋上を緑化して学生の憩いの場と室温抑制を実現するビオトレープ、等々。へながら「新エネルギー賞」ほか各界の称賛もうなづける。

緑園に馴染み薄い同窓生の方々も、新しいエコ・キャンパスをぜひ見におでかけください。

大谷 園子

緑園に「エコ体育館」が完成



緑園キャンパスに建設中だった新体育馆が完成、5月末の奉納式には、3同窓会の役員も招かれて参列した。

青空と緑の木立を背にくつきり立つ白壁。メインのフロアはバスケット2試合を同時に使える広さ、続くサブフロアはダンスや体操の姿を映しだせる鏡張りの壁面、各種マシーンを備えたトレーニング室や救護室、その上層階には課外活動のためのサークル室が30も。

りてら・りべるて・Fグループ 合同総会

2005年4月29日・緑園キャンパスにて



第三回合同総会は、好天に恵まれた緑園キャンパスで開催されました。

はじめに、各同窓会がそれぞれの総会を開き、一同チャペルに移動し、梅本宗教主任の司式により礼拝がとり行われました。とりなしの祈りで参加できなかつた同窓生の皆様を思い主に祈りました。

次に同窓会を代表し、Fグループ大谷会長よりご挨拶と、りてら田辺会長、りべるて金子新会長の紹介がありました。

大学より本間学長のご挨拶をいただきました。緑園校舎はエコキャンパスとして様々な工夫がされ、今年完成した体育館は更に、雨水による屋根散水や壁面緑化等にも取り組み神奈川県の「かながわ新エネルギー賞」と横浜市の「第一三回横浜環境保全活動賞」を受賞などの近況をお話くださいました。

続いて、音楽学部新卒業生によるヴァイオリンとピアノの演奏を楽しみました。

そして、懐かしい校歌を合唱し、チャペルをあとにしました。その後、出席者全員で恒例の記念撮影、懇親会となりました。ご来賓を代表し岡野学院長より学院の近況などを伺い、各グループごとになごやかな歓談のひ

と時を過ぎ”しました。
懇親会終了後、本間学長のご案内で、完成したばかりの体育館などキャンパスを見学させていただきました。
来年は四月二十九日（土）を予定しております。
どうぞ、皆様お誘い合わせの上、お出掛け下さいますようにお願い致します。



第21回 りてら総会

日時 四月二十九日

於 八号館大会議室
来賓 文学部長 宮坂覺先生

国際交流学部長 石島紀之先生

りてら総会では 四月九日(土)の学年幹事会で承認された事業報告、会計報告、シヨップ会計報告、今年度予算案などが報告されました。続いて田辺会長より個人情報保護法に関する説明があり、今後りてらは名簿発行をとり止める事が決まりました。

来賓の宮坂覺先生、石島紀之先生からは、それぞれの学部の近況、本年度の新人生は受験者が増えた結果、レベルの高い学生が入学した、というような嬉しいお話をうかがいました。

その後、フリートークに移り「総会をもつと大勢の会員が出席する魅力あるものにするには、どうしたら良いか。」といった問題に活発な意見が交わされました。この日皆様から寄せられた貴重なご意見、ご希望に沿えるように、役員は努力してまいります。

緑園キャンパスも毎年施設が充実し、五月には体育館も竣工となりました。来年の総会で大勢のりてら会員の皆様にお会いできることを楽しみにしていきます。

(報告 大矢節子)



4月29日緑園チャペルにおいて、渡邊明先生、秋岡先生、木村圭一先生をお迎えして、69名の同窓生が集いFグループ総会が開催されました。まず会長となり様々な経緯を経て今日に至った事、同窓会が大きな役割を担っている事、りべるの発展、学院の発展の為、今後も皆様のご協力をお願いする旨のお話がありました。

続いて、来賓の友井先生からは、歴代会長が大変なご苦労のなかそれぞれに実力を發揮され、今日の「りべる」が固まつた事、また、素晴らしい家政科の卒業生として、プライドを持って日々生活して欲しいとの強い励ましを頂き、有形無形に関わらず家政科で学ばせて頂いた多くの教えに改めて感謝いたしました。引き続き、委嘱状を含め1570名の主席者を得て議事入り、2004年度活動報告、決算報告、会計監査報告が承認されました。審議に移り、2005年度活動計画案・予算案、新役員の推薦が上程され満場一致で承認されました。

最後に新役員を代表として金子新会長から、家政科最後の卒業生も30代になり、活動の二つとも変わってきている現在、それを考えながら、新しい活動を行っていきたいとのご挨拶がありました。

本年度も悲無く総会が終了しました事を感謝と共にご報告いたします。

第16回 りべるて総会

Fグループ総会

4月29日緑園チャペルにおいて、渡邊明先生、秋岡先生、木村圭一先生をお迎えして、69名の同窓生が集いFグループ総会が開催されました。まず会長

より、同窓会の活発化の為に会員のご支援ご協力をお願いしたい旨の挨拶があり、議事に入りました。04年度会計報告、会計監査報告、活動報告、05年度予算案報告、活動予定報告がそれぞれ承認されましたことを報告致します。続いて各文部からの活動報告がありました。

引き続き渡邊先生からは、改組になって初めての入試結果が、素晴らしい出発となたなお話がありました。秋岡先生からも、入学者の学力が高いというお話を頂き、今後の音楽学部の発展に期待を持ちつつ閉会となりました。今後も多くの皆様の同窓会活動への参加を、心よりお待ちしております。

C. ドビュッシー アラベスク第一番
(報告 一般若澄子 30回)
E. エルガー 朝の歌 オーボエ
岡野貞一 ふるさと

*ヴァイオリン独奏

吉澤 枝里

ピアノ 栗原 麻矢

朝の歌 オーボエ

ふるさと

*ピアノ独奏

後藤 信子

C. ドビュッシー アラベスク第一番



一〇〇四年度卒業式



音楽学部新卒業生演奏

緑園キャンパスからメツセージ

同窓会の皆々様、

ご健勝にお過ごしで

しょうか。この多層

的で複雑な文化社会

の中で平穏に過ごす

ことはなかなか困難

なことかもしれません。

社会における第

一線での役割、育児、

子女の教育、あるいは介護と、気の休ま

ることがないのでは

とも拝察いたしま

す。

一九六五年に大学文学部が開設され、今年で四〇年が経たことになります。さらに、この四月で文学部全学年が緑園に移って丸四年になりました。二〇〇一年に、それまで山手キャンパスが学びの中心であった三、四年生も緑園キャンパスに移り文学部の教育が緑園で展開されることになったのです。山手キャンパスでの学びを経験しなかつた初めての学生がこの三月に卒業を致しました。その意味で、文学部は、新しい季節を迎えたことになります。

国際交流学部の改革の歩み

端をお知らせしましょう。

国際交流学部は、二〇〇五年度の入試で受験生が昨年度に比して一・五倍にふえ、学部全体が活性化しています。そして今、新たな改革の一歩をふみだしつあります。そこで二〇〇四年度から進めているカリキュラム改革の歩みを中心

第一に、学生たちの学習の方向付けを手助けするために、「モデルカリキュラム」という小冊子を作りました。国際交流学部では幅広いカリキュラムが用意されていますが、反面、専門を学ぶためにどの科目を順序だって履修すればよいか迷う学生も少なくありません。この小冊子は三年次から始まる専門演習にむけて、研究入門・基礎演習・専門科目などのなかからどの科目を履修すればよいかのメニューを示したもので、

第二に、二〇〇六年度から一年次生の一

流学部のホームページを紹介します。

緑園キャンパスにおける教育環境の整備も着々と進められてきました。文学部の全面移転とともに、文学部棟、大教室棟（緑園キダー・ホール）、図書館棟の建設がなされました。今春、念願の体育館が竣工されました。さらに、キダーホールに隣接して建てられていた二棟のプレハブも撤去され、その跡地は学生たちが憩える広場として整地されました。これで、おそらくキャンパスのハード面の整備は一段落したことになるでしょう。が、一方では、

同窓生の学びの空間、山手キャンパスのことも大切な懸案事項となつております。
緑園キャンパスにおける教育環境の整備も着々と進められてきました。文学部の全面移転とともに、文学部棟、大教室棟（緑園キダー・ホール）、図書館棟の建設がなされました。今春、念願の体育館が竣工されました。さらに、キダーホールに隣接して建てられていた二棟のプレハブも撤去され、その跡地は学生たちが憩える広場として整地されました。これで、おそらくキャンパスのハード面の整備は一段落したことになるでしょう。が、一方では、

大学は周知のように、大きな時代のうねりの中に翻弄されています。ひと時の猶予も許されないような状況です。しかし、同窓生の皆様が守り育ててくださったフェリスらしさは失うことなく、今後の文学部の展望を見据えております。ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

文学部長 宮坂 覺

ための「導入演習」を新たに設置することになりました。現在、どの大学でも大学生の学力の低下、大学で学ぶことに対するモチベーションの弱さが問題になっていますが、新科目はそれらの問題を克服することを目的としています。この「導入演習」では、新入生に大学で学ぶことの意味はなにかを考えるとともに、文献の検索の仕方、レポートの書き方、図書館の利用の仕方など大学で学ぶための基礎的なスタディースキルを教えます。

このように発足以来九年目を迎えた国際交流学部は、これまでの成果をふまえて、時代の変化にそくした新たな歩みを始めています。同窓生の皆様のご理解、ご支援を心からお願いいたします。

「うたご」からのお知らせ

会長 田辺 真弓



最上階左が新しいでら同窓会室

名簿発行中止について

本年四月に施行されました個人情報保護法により、りてらでは皆様の個人情報をより厳重に管理・保護することが必須となつております。取り扱いは、法律などの規範を遵守しプライバシーの保護に努めます。予定していな名簿発行については、発行後どのように使用されるかの追跡が出来ないので、中止となりました。ご理解いただきますようお願ひいたします。なお、同窓会室での住所管理を拒否なさる場合、または、異議のある方は、お申し出ください。

TEL/FAX(045)812-8692
(火・木 10時~16時)

りてらショップのご案内

りてらショップでは、只今約30種のグッズを販売しております。

これまでに23品のグッズを開発し、学生の皆様はじめ、同窓会会員の皆様に大変喜ばれ、「愛用いただいでおります。

また、新たに横浜スカーフにて、フェリスマーク入りの無地スカーフを開発中です。最高級シルクで、小さな蝶の地模様の入った大変美しい布地です。秋には完成いたしますので、皆様どうぞ期待ください。

お友達へ、お母様へ、お嬢様へのプレゼントとして

ご利用いただきたいと思ひます。
クラス会の記念品等にも、利用下さい。

お求めいたいたい商品の利益の一部は、同窓会活動や学院への寄附などにつかわれ在校生の為に有効義に役立っております。

商品希望の方は、同封してありますフェリスグッズ一覧表をご覧の上、お申し込み下さい。(りべる、Fグループの方はりてら同窓会室にお問い合わせ下さい)

大勢の方のお申し込みをお待ちしております。担当 松本 世以子
TEL/FAX(045)812-8692
(火・木 10時~16時)
lita@uranus.dti.ne.jp

決算報告

りてら 2004年度決算報告 (2004年4月1日~2005年3月31日)

収入

| 収入 | |
|--------------|-----------|
| J B マート | 904,315 |
| フェリシショップ(緑園) | 1,233,280 |
| 通販 | 102,635 |
| 利息 | 443,620 |
| 21 | |
| 小計 | 2,683,871 |
| 繰越在庫 | 1,253,595 |
| 前年度繰越金 | 3,003,603 |
| 合計 | 6,941,069 |

支出

| 支出 | |
|--------|-----------|
| 小林紙工 | 1,548,293 |
| ワールドアイ | 985,815 |
| 振込料 | 10,219 |
| 雑費 | 4,000 |
| 人件費 | 140,620 |
| 小計 | 2,688,947 |
| 来年度繰越金 | 4,252,122 |
| 合計 | 6,941,069 |

これらの報告は、4月9日の学年幹事会で会計監査を経て承認され、4月29日の総会で報告されたものです。

また、大学側のご努力の結果、本年度は特に優秀な学生が多く受験され、良い入試結果が得られたとの報告を伺っております。環境を考え、地域に密着するとともに、社会貢献をめざすことは大変注目すべきことで、緑園キャンパスで学び育つ学生の皆様に期待をも、見守ってまいりたいと思います。

十一月五、六日のフェリス祭・ホームカミングデー、そして来年四月の総会には、縁いつばいのキャンバスにお誘いあわせて、お出かけください。特ににてらでは、フェリス祭でのグッズ販売に力を入れ、ショップの新グッズ等を企画中です。同窓生の力を合わせ、学院発展のため、何らかの形で表すことができればと話し合っております。通販でも皆様のご協力をお願い申し上げます。フェリス祭の当日はぜひ、ひとりでも多くのお手伝いが必要ですので、お申し込みをお待ちいたしております。

樹木が眺められ、四面のテニスコート・広い運動場に続き、時折り鳴のさえずりも聞こえます。卒業生の方々がいつでも、気軽に立ち寄っていたけるような、同窓会作りを私達は目指してまいりたいと思っております。館三階には私共りてらの同窓会室が設けられました。大変眺めの良い、明るくじんまりとしたお部屋です。梅林、桜など多くの樹木が眺められ、四面のテニスコート・広い運動場に続き、時折り鳴のさえずりも聞こえます。卒業生の方々がいつでも、気軽に立ち寄っていたけるような、同窓会作りを私達は目指してまいりたいと思っております。

まず新しい体育館完成と同窓会室移転の報告をいたします。去る五月二十六日、多くの学院関係者の方々ご列席のもと、緑園新体育館の奉獻式がサブフロアで行われました。一三〇周年記念事業の最後のまとめともいわれるこの建設は、多くの皆様の協力のうちについに完成したものです。そして体育館三階には私共りてらの同窓会室が設けられました。大変眺めの良い、明るくじんまりとしたお部屋です。梅林、桜など多くの樹木が眺められ、四面のテニスコート・広い運動場に続き、時折り鳴のさえずりも聞こえます。卒業生の方々がいつでも、気軽に立ち寄っていたけるような、同窓会作りを私達は目指してまいりたいと思っております。

十一月五、六日のフェリス祭・ホームカミングデー、そして来年四月の総会には、縁いつばいのキャンバスにお誘いあわせて、お出かけください。特ににてらでは、フェリス祭でのグッズ販売に力を入れ、ショップの新グッズ等を企画中です。同窓生の力を合わせ、学院発展のため、何らかの形で表すことができればと話し合っております。通販でも皆様のご協力をお願い申し上げます。フェリス祭の当日はぜひ、ひとりでも多くのお手伝いが必要ですので、お申し込みをお待ちいたしております。

| 項目 | | 決算 |
|--------|------------|----|
| 終身会員 | 14,400,000 | |
| 預金利息 | 16,951 | |
| 収入 | 2,504,000 | |
| 小計 | 16,920,951 | |
| 前年度繰越金 | 15,958,198 | |
| 合計 | 32,879,149 | |

| 項目 | | 決算 |
|------|------------|----|
| 事務用品 | 187,783 | |
| 印刷刷信 | 1,934,188 | |
| 会員登録 | 3,140,615 | |
| 会員登録 | 1,267,324 | |
| 会員登録 | 58,042 | |
| 会員登録 | 9,254 | |
| 会員登録 | 75,117 | |
| 会員登録 | 71,614 | |
| 会員登録 | 640,720 | |
| 会員登録 | 238,289 | |
| 会員登録 | 648,540 | |
| 会員登録 | 71,500 | |
| 会員登録 | 103,692 | |
| 会員登録 | 1,000,000 | |
| 会員登録 | 139,650 | |
| 会員登録 | 3,996 | |
| 会員登録 | 9,590,324 | |
| 会員登録 | 23,288,825 | |
| 会員登録 | 32,879,149 | |

卒業生紹介

十年目

阿部 弥生 (96S)

大学卒業後、新聞社で出版の仕事に就いてはや十年目。

長らくビジュアル雑誌の編集に携わっていいたが、昨年秋に職場を異動し、現在は文芸編集部に所属、書籍の編集を担当している。出版する本は小説やエッセイが中心。さらに本人に興味と体力がある限り、ノンフィクションや旅行、語学など、扱うジャンルは果てしなくある。

締め切りだ、売れ行きだ、と常にビクビクし、連日の残業、加えて週末もダラダラ持ち帰り仕事、と私の働きぶりはけつこう

伝えますアロハの心を

これからも…

ナヴァアリ・ラエラ久米 (62E)

(旧姓) 小山由美子

四十代後半に友達から横浜でフラの教室が始まるのでと誘いを受けました。

横浜は懐かしく、ハワイアン音楽大好き、おる等の歌に合わせて、手話に似た身振り、手振りを教わり、まるでタイムスリップしたような気分で、すっかりその中に溶け込んでいる自分がいました。

それからは和製ハワイアンではなく、ハワイに根付いたフランシング、トライディショナルソング、チャント(古典)と今迄に聞いたことのない曲目に出会い、フラの虜になりました。



情ない。

職場結婚した先輩が「共働きの秘訣は、夫婦4の家事体制を守ること」と教えてくれたが、我が家もウイークデーの家事は夫に頼りっぱなし。

多くの人の心に届く、ニーズを満たせると自分が信じたテーマを、本として生み出す仕事は、ギャンブルにも似たドキドキもあり、楽しいと思う。ただ時々「なんでもこんなに余裕のない仕事をしているのか」と泣きたい気持ちになることがある。

十年近くたったものの、社会との接点をはつきりとつかめているわけではない。ぱたりと立ち止まって、それについてしっかり考えてみたいという気持ちもわきおこる。でも動いていなければ見つからないのかも

しない。

さしあたり今はまず夫婦共に健康第一。そして、ささやかな手ごたえを感じながら、社会の中でのほどよいありようを見つけていきたいと思いつつ、今日も慌しい一日が過ぎていく。

フラワーアレンジメント講習会

昨年のクリスマスリース講習会に引き続き、今年は「お正月のお花」の会を企画いたしました。

昨年同様、渕野智恵先生(フルール・デコ・リールー主宰)を講師にお願いしています。皆様方のご参加をお待ちしています。



し、小学校の体育課目に取り上げられてもいます。

私も三ヶ所で三千代のママさんと子供達のクラスを教えています。これは私達の世代から子供へ、孫へとフラの持つ明るさ、気軽さ、開放的、遊び心、おしゃれといった魅力が三世代に受け入れられたのであります。

フラは健康にも良く、自然とのふれ合いを感じ、美しいメロディーで踊ることで心が解放されて癒されます。

フラはハワイの伝統、文化そのものですからフランシングのハワイ語をも正しく理解してそれを汚すことなく踊ることです。フラを教えることで時代の移り変わりを知り、この先日本のフラ界がどのように変わっていくか判らない現状ですが、二歳から八十歳までの巾広い年齢の方々と接し、一日大事に過ごしています。

お願ひ

左記の卒業年度からは、学年幹事の届け出がありません。

幹事のいない学年はりてら会則のとおりに各科2名ずつ選出して下さい。9月15日までに「お申込みはりてら同窓会室まで」

お申込みはりてら同窓会室まで

| |
|-----------|
| 1967 E, J |
| 1968 E, J |
| 1978 J |
| 1979 J |
| 1980 E |
| 1984 E |
| 1993 J, S |
| 1994 E |
| 2003 J |

連絡先

TEL FAX(045) 812-8692
(火・木 10時~16時)
litela@uranus.dti.ne.jp

同窓会りてら会員に聞く！

あなたにとってフェリスとは…

フェリスを卒業し、同窓会りてらの会員となつた各年代（20代～70代）から均等に無作為抽出した300名の方々へアンケートを実施しました。94名の方々からの回答をもとに、会員にとっての母校フェリスについて、また同窓会りてらの活動や同窓会会報についての意見を見まとめてみました。

フェリスを卒業して良かったという回答が86パーセントであったことは卒業生にとってだけではなく、フェリス女子学院のためにこれまで尽くされた諸先生方をはじめ、職員、また在校生にも喜ばしいことではないでしょうか。

卒業後母校を訪れたことの有無については、73パーセントの方が「ある」と回答されました。また全体の平均来校回数は4回でした。アンケートでは緑園校舎と山手校舎に分けて設問しているため、「ある」と回答した方のなかでもまだ緑園校舎は訪れたことない方がいらっしゃるのではないかと思われます。

文学部全学生が緑園校舎に移転した現在、りてらの同窓会室も緑園校舎の新体育館3階にあります。懐かしい山手校舎だけではなく、エコロジーを駆使した新体育館や卒業生も利用できる図書館、レシライブラリーなど充実した施設のある緑園校舎にも一度来校されてはいかがでしょうか。

アンケートの設問の最後に会報のどんな記事に興味を持たれたか、また同窓会りてらへの希望やご意見をお伺いしました。最も興味深く読んでいた大半のが「卒業後に活躍されている方の記事」や「同期やかつての指

導いた先輩方の近況

今後掲載を希望される記事としては「大学の現状」「新しい校舎の様子」「学生の紹介等を記された方もありました。が、同窓会会報と共に同封しています「キャンパスマップ」を見ただければ良いのだと思います。

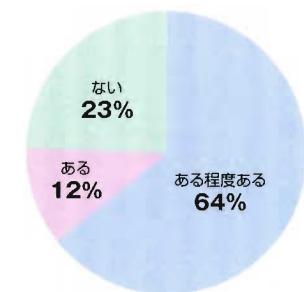
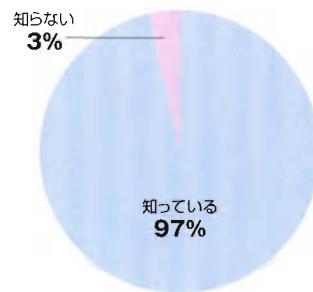
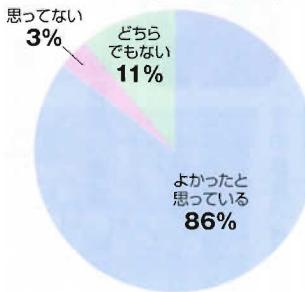
講座、礼拝、地方会のお知らせなど、りてらの活動についても興味深くご覧いただいているようです。「もっと卒業生向けの講演会やサークルを」「バザーなど社会へ奉仕できる機会を作つては」「地方での同窓会があると良い」等のご意見も記されました。さらに、高年齢の方からは「眼が悪くなり、字が小さいと読み辛い」や「写真が多いと良い」などのご意見も寄せられました。

これまで、りてらではコサートやサークルなどさまざまなイベントの紹介をしてきましたが、このアンケートでいたいたいご意見をもとに講演会や同窓会などを含めたより多くのイベントや活動の情報をお伝えできるよう努めて参りたいと思います。

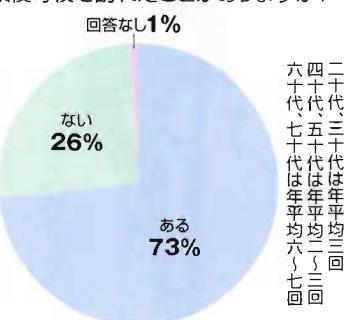
今回のこのアンケートの狙いは会報からの一方的な発信ばかりでなく、お読みいただいている皆様からのご意見を頂くという双方性を探るものでした。結果、年代を超えた大勢の方の声を伺うことができ大変参考になりました。アンケートにご協力下さった、りてら会員のみなさまには心からお礼申し上げます。いただきましてご意見を参考にして、より読みやすく、興味深い会報作りを心がけ、フェリスをいつも身近に感じていただけたらと願っています。

坂井久子・松本郁美・春日井節代（会報委員会）

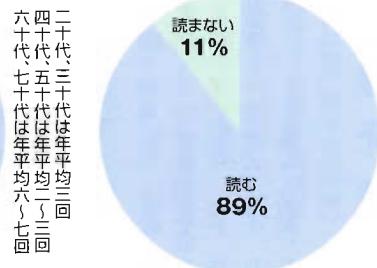
- ①あなたはフェリスを卒業したことを良かったと思っていますか？
②あなたはりてらの会員であることを知っていますか？
③あなたは同窓会りてらの活動に関心がありますか？



- ④卒業後母校を訪れたことがありますか？



- ⑤同窓会会報が届いたとき、あなたは読まれますか？



使用済み切手をお送り下さい。

りてらでは使用済みの切手を集めて、
「日本キリスト教海外医療協力会」へお
送りしています。

この団体はアジアで医療が充分でない
地域で援助活動をしているNGOです。
皆様のご協力を待ちしております。

りべるて

Vol.17

「七年を振り返り」

前会長 皆澤 靖代



今年も年一回の
会報をお届けする
時期となりました。

その都度、皆様に
「りべるて」の様子をご報告させていただき
ました。役員および同窓会の皆
様、並びに学院の皆様のお支えとご協力を
いただき、また、友井先生の月一回の委員
会のご出席により良きご指導を賜り、無事
七年間を務め終えることが出来ました
ことを感謝申し上げます。

同窓会も少しづつ改革し、時代に合った良
い方向に進んで行かねばなりません。「り
べるて」は同窓生の拠り所となるよう相互
の交流を図り、学院と同窓生とのパイプ役
に努めております。
今後とも「りべるて」を温かく見守ってい
ただき、また、積極的にご協力いただくな
うお願いいたします。

金子会長を中心

に役員の皆様のご活躍

と「りべるて」の発展をお祈りし、七年間

を無事に終えることが出来ましたことに感

謝とお礼を申し上げます。有り難うござい

ました。



四月の総会でりべるて会長をお引き受けすることになりました。どうぞ宜しく
お願いいたします。歴代の会長は、学院と卒業生のパイプ役となられ、リーダーシップを
發揮し活発な活動へと導いてくれました。今、責任の重さを痛感しております。幸い、
副会長はじめ経験豊かな役員が引き続き活動してくださりますので、心強く思っております。

総会の返信葉書や、会員の皆様からいた
だくお手紙には、二年間という短い学生生
活がその後の生活にどれほど影響を与えた
か、また、家政科で学んだ事や、沢山のお
友達に出会えた事が大きな財産になつたと
書かれています。私も同感です。フェリスで
学んだ事は学問だけでなく大きな意味で
For Others の精神と言えるのではないでし
ょうか。社会や家庭で、それぞれの立場で
皆様は自然に実践していらっしゃいます。

家政科の歴史は閉じられても、「りべるて」
は皆様の母校に対する思いを学院に伝える
大切な役割を担つております。「りべら」「F
グループ」と共に総会を開催し、会報を發
行する事もそのひとつです。個々のパワーを
一つにまとめ、大きな力としフェリスで学ん
だ同窓生として、それぞれの活動を保ちな
がら連携していくという事です。

さて、「りべるて」では各種講習会を開催してお
ります。友井先生のお料理教室は学生時代
に戻ったような緊張感と楽しさがあります。
お菓子・ビーズ・ステンドグラス・北欧絵織物
等の講習会は、国内外で活躍されている「り
べるて」の会員である先生方に教えていただ
ける贅沢な教室です。是非ご参加ください。

また、中高フェリス祭と同時に行なうバザ
ーは、会員の皆様方をはじめ地域の方々に
も心待ちにされております。十一月二日、
三日と開催致しますので、お友達、ご家族
でお出掛けください。

なお、昨年のバザー収益金は、学院維持協
力会および、新潟中越地震見舞金として新
聞社を通じて寄付させていただきました。

三年前より、大学三同窓会が協力して総
会を開き、会報も合同で発行することとな
りました。これにより、フェリス同窓生と
して一体感が強まつたと思つております。

学院は少子化に伴う厳しい環境のなか
で、変革の時期を迎えております。私たち

役員が変わりました

| | | |
|------|-------|------|
| 会長 | 金子 和恵 | D 51 |
| 副会長 | 村本とよ子 | D 35 |
| 会計 | 石井 克子 | D 43 |
| 会計監査 | 渡辺 晃子 | D 40 |
| ク | 郷 佑美 | D 43 |

恩師登場



フェリスとの出会いに感謝

大河内 君子

緑園体育館

フェリス女学院は、創立百三十五周年を迎えた。私が、フェリス女学院短期大学家政科に着任しましたのは一九七〇年であり、まさにフェリス創立百周年の年でありました。百年記念式典は、横浜文化体育館で盛大に行われました。

また、この年の十月には、音楽科校舎が完成、十一月には、山手に大学体育館が完成しました。完成記念式典では、ピカピカのフロアで、まだ学生気分の抜けないまま、レオタード姿でダンスを披露したことを覚えております。そして、翌年には家政科校舎(現六号館)が完成するなど、フェリス女学院が大きく発展した頃でした。

家政科校舎は、山手のエキゾチックな雰囲気にピッタリの美しい外観をもち、内装は、まるで豪華ホテルのようでした。屋上に上がる

ると山手一帯が一望でき、季節ごとに古き良き横浜を見ることができ、先生方と夏には花火見学やバー・becueを楽しみました。石川町から家政科校舎までは、急な坂道や歩きづらい長い階段が続き、夏には汗びっしょりとなり、冬にはハーハーと白い息を吐きながら一気に駆け上がったことも、今は懐かしい思い出の一つとなっていました。

山手は、古い文化や歴史があることから、学生を連れて時々散策にてかけました。外国人墓地にあるミス・キダーオの墓にお花を手向け、元町公園にあるエリスマン邸の喫茶室でケーキセットをいただき、二階の展示会場を見学しました。また、体育館の裏には、日本で最初のテニスコートや日本で最初の洋式公園の山手公園がありました。

このよななテニスコートや山手公園は、体育実技の授業で利用させてもらい、緑の中でスポーツゲームや太極拳を行い、ゆったりとした時間で過ごしました。山手の体育館から港の見える丘公園までは、部活動のトレーニングのためのランニングコースとして最適でした。

当時の体育実技の授業は、必修科目であり、授業は通年で行われ、一クラス六十名の受講生(現在は選択科目・半年で三十名の受講生)をいかに効率よく運動させるか」という点で苦心しました。受講生は、指示に従って動いてくれ、協力的であったこととても感謝しております。

フェリスでの数え切れない思い出は、私の人生の大切な財産であり、何よりも自由で知性豊かなフェリス生との出会いに、心から感謝しております。

(フェリス女学院大学
文学部コミュニケーション学科教授)



になって、第二トレーニング室で遅くまで練習に励みました。ダンス部員とは、今でも連絡を取りあており、長いつき合いが続いております。

二〇〇五年二月に緑園体育館が完成しました。日本で最初に女子教育として「体操」を実践したのもフェリスであり、女性の健康づくりや体力向上に熱心でありました。明治期のフェリスの体操は、現在の美容体操を取り入れたものであり、女性の美しさ、優美さ、そして力強さを求めた身体運動であり、当時のアメリカでキャリセックスと呼ばれたデルサルト式体操でした。

| 行 事 預 定 | |
|----------------|------------|
| 十一月二日(水)・三日(木) | フェリス祭参加バザー |
| 午前十一時～ | |
| 十一月三十日(水) | |
| 午前十時半 | ステンドグラス講習会 |
| 十一月十日(土) | クリスマス礼拝 |
| 午前十一時～ | フェリスホール |
| 二〇〇六年 | |
| 一月 | 大森先生お墓参り教室 |
| 未定 | 北欧絵織物教室 |
| 午前十一時～ | フェリスホール |

フェリスグッズ

● 本革ブックカバー文庫用
(エンジ・キャメル・モスグリーン)
各二千五百円

● エプロン(黒・赤・茶・紺)
(ピンク・クリーム・水色・黄緑・白)
各四千円

● ハンドタオル
(スプーン・フォークセット)

各五千円

● 申し込み先
家政科同窓会りべるて

Tel/Fax (045) 662-0750

生まれ変わった西洋館 ベーリック・ホール

山手6号館で学んだ同窓生の皆さんは、道路を挟んだ向かい側に、高い塀に囲まれうつそうとした木立の中に見え隠れする、大きなお屋敷があつたことを憶えていませんか？ 平成12年までセント・ジョセフ・インターナショナルスクールの寄宿舎として使用されていたこの建物は、横浜市認定歴史的建造物ベーリック・ホールとして、公開されています。

ベーリック・ホールは、イギリス人貿易商B・R・ベリック氏の邸宅として、1930年アメリカ人建築家J・H・モーガンの設計により建造されました。スペニッシュスタイルを基調とした建物は、復元改修工事を経て生まれ変わり、私たちを迎えてくれます。1階にある高い格天井に暖炉を備えた広い居間では、毎月様々な催しも企画されています。昨年10月には、コールリベルての皆さんによるコンサートも行われました。広いお庭もとてもよく手入れされ、山手独特的異国のかおりを存分に感じることができます。

●お問合せ先：ベーリック・ホール
横浜市中区山手町72
TEL・FAX ○四五（六六三）五六八三
年末年始第2水曜日休館 入館料無料

献品のお願い
フェリス祭バザー当日に販売する日用雑貨品や贈答品等がございましたら、ご寄付くださるようお願い申し上げます。
尚、未使用の品で食料品・衣類は除外させていただきます。

- ・受付期間 十一月一日まで
- ・毎週木曜日 午前十一時～午後三時
- ・受付場所 家政科記念館
- ・郵送・宅配便でお送りいただいても結構です。



五十川周作先生の追悼会に参加して

山手6号館で学んだ同窓生の皆さんは、道路を挟んだ向かい側に、高い塀に囲まれうつそうとした木立の中に見え隠れする、大きなお屋敷があつたことを憶えていませんか？ 平成12年までセント・ジョセフ・インターナショナルスクールの寄宿舎として使用されていたこの建物は、横浜市認定歴史的建造物ベーリック・ホールとして、公開されています。

ベーリック・ホールは、現存する戦前の山手住宅の中では、最大規模の建物です。ひとつひとつのお部屋を巡りながら、かつての生活を想像してみるのも楽しいかもしれません。狭い斜め向かいにはエリスマン邸、その斜め向かいには山手234番館という2つの西洋館も同様に公開されています。

なお、11月2日、3日（祝・木）は、家政科記念館にて毎年恒例のバザーをいたします。献品は当日まで受付いたしますので、山手散策を兼ねぜひお誘いあわせていらしてください。

ベーリック・ホールは、現存する戦前の山手住宅の中では、最大規模の建物です。ひとつひとつのお部屋を巡りながら、かつての生活を想像してみるのも楽しいかもしれません。狭い斜め向かいにはエリスマン邸、その斜め向かいには山手234番館という2つの西洋館も同様に公開されています。

では、最大規模の建物です。ひとつひとつのお部屋を巡りながら、かつての生活を想像してみるのも楽しいかもしれません。

一生は長くございますが、思春期や学生期に受けける教育や影響はその人間の思想や生き方を左右するものと思います。

卒業し早20数年になりますが、フェリス在学中に授業や学友会を通して五十川先生から学んだものが私の人間形成と日々の意識の根幹の一部であると再認識いたしました。大きな歴史での父親の愛情と同じ優しさを持つ眼差しと「ガッハハ」という笑い声で私たちを見を暖かく見守つて下さいました。まず、学生第一と意見を聞いてくださいり、その意見を尊重して下さいました。それはまさに、本学院において永く守られてきた「For Others」の精神でありました。追悼会の席で諸先生方のお話を聞きいたしましたが、五十川先生がフェリスに赴任時から常にフェリスの目では見えない内部的な確立を目指してご努力されていらした事を知り、お心の深さ広さに感銘致しました。同時に五十川先生の教えはこれからも尚一層強く私たちの中で生きづづけ、また子弟に語り継がれていくのだ、と感じました。五十川先生より受けた教えを大切に、フェリスにて教育を受けられた事に感謝し、これを誇りと致します。

五十川先生のご冥福をお祈り致します。

友井先生お料理教室



六月九日、友井先生のお料理教室が開催されました。

今回のメニューは、グリンピース入り野菜スープ・まぐろとアボガドのサラダ・キッシュの煮込みの五品とデザートは、フランボワーズのバロアでした。

盛りたくさんでしたが、お元気な友井先生のご指導のもと、学生時代にもどった様に楽しい調理の時間になりました。

色とりよく出来上がったお料理はどれもとても美味しくいただきました。

今回参加されなかつた方も、次回は是非お出掛け下さい。

絵織物教室

今回はアクリル板を使った絵織物に挑戦しました。

板の表面に家を裏面に木を織り立体感のある風景の絵織物となりました。

先生とのお話をともに楽しい一時を過しました。



コール・リべるて ティーコンサートのご案内

10月18日(火) 午後1時半～
於 家政科記念館

◆ 部員募集中 ◆

お問合せ:中村淑子

■ 2004年度決算報告書

2004年4月1日～2005年3月31日

| 科 目 | 金 額 | 備 考 |
|-----------|------------|-----------------|
| 前年度からの繰越金 | 13,594,165 | |
| 今年度の収入 | | |
| 利息収入 | 5,746 | |
| 事業収益 | 778,752 | フェリスグッズ、バザー収益、他 |
| 基金運営費 | 2,798,458 | |
| 名簿代 | 1,468,000 | |
| 寄付金 | 1,057 | |
| 小計 | 5,502,013 | |
| 合 計 | 18,646,178 | |
| 今年度の支出 | | |
| 消耗品費 | 43,017 | |
| 旅費・交通費 | 385,240 | |
| 通信・運搬費 | 1,156,777 | |
| 印刷・製本費 | 2,418,147 | 名簿印刷費を含む |
| 報酬・手数料 | 1,050 | |
| 会議・会合費 | 69,604 | |
| 諸会費 | 70,000 | |
| 涉外費 | 203,216 | 新潟中越地震見舞、維持協力会 |
| 雑費 | 1,500 | |
| 修繕費 | 7,875 | |
| 事業費 | 325,167 | |
| 寄付金 | 218,337 | |
| 小計 | 4,899,930 | |
| 翌年度への繰越金 | 13,746,248 | |
| 合 計 | 18,646,178 | |

| | | |
|-----------|------------|--|
| 定期預金(浜銀) | 6,281,658 | |
| 定期預金(郵貯) | 2,630,001 | |
| 定額預金(郵貯) | 3,012,585 | |
| 普通預金(ばるる) | 1,822,001 | |
| 普通預金(浜銀) | 3 | |
| 振替金 | 0 | |
| 合計 | 13,746,248 | |

■ 2005年度予算

2005年4月29日

| 科 目 | 金 額 |
|--------|----------------|
| 消耗品費 | 事務用 10,000 |
| | その他 50,000 |
| 旅費・交通費 | 350,000 |
| 通信・運搬費 | 郵便料金 1,070,000 |
| | 宅急便 5,000 |
| 印刷・製本費 | 950,000 |
| 報酬・手数料 | 5,000 |
| 会議・会合費 | 70,000 |
| 諸会費 | 70,000 |
| 涉外費 | 200,000 |
| 雑費 | 10,000 |
| 修繕費 | 10,000 |
| 事業費 | 400,000 |
| 合計 | 3,200,000 |

会計

河合 重子
吉川嘉子

会計監査

石井亮子

※監査の結果、正確であったことを確認致しました。 2005年3月31日



Fグループだより

No. 34

〒231-0862

横浜市中区山手町68

フェリス女学院大学

音楽学部同窓会

(Fグループ)

VIVA Ferris!

VIVA Ferris!

音楽学部学長 渡邊 明



今から16年前、1989年3月に刊行された「フェリス エピストラ」第22号の中で私は短大が学部に発展改組される姿を感慨をもつて歌った。

『人に命があるように時にも命があることを感ずる。人の命は時の命をつくり時の命は人の命をつくる。』と。

確かに私の命も四半世紀に及ぶフェリスでの時によつて育まれてきた。そして今、あの時の改組に次ぐ大きな学部の改組・改革を経て、その一歩をスタートさせたばかりである。あの時もやはり歌っていた。

『音楽科が音楽学部に成長しようとしている今そのことを思うと、今日に至るまでの同窓生、教職員の努力の意味は大きい。今いる私たちは、たまたま

この時に居合わせた。だからこの歴史の存在者としての役割を立派に演じなければならぬ。』

ここで私は、歴史の存在者としての役割、つまり時をつくる人として、何よりも最初に同窓生をあげていた様に思う。その気持ちは今でも変わらない。そして歌はさらに続く。

『私たちは自信をもつて、短大音楽科を語ることができる。確かに、歩みは遅かったかもしれない。しかし、一時も理想と希望を忘れてはいなかつた。』

この思いもまた今も変わらない。フェリスは決して弱くはないのだ。フェリスでの最後の一年を迎えて、私は自信をもつてエールを送ろう。

VIVA Ferris!

同窓生の皆さまへ

Fグループ会長 大谷



Fグループの皆さま、そして3月に新会員となられた98名の方々、お元気でいらっしゃいますか。

中田前会長からバトンを引き継いだ私たちは新役員会はこの一年、年代や経験の差を超えて全員が一体となってフル回転で活動し、二年目に入りました。若い人たちがのびのび、ジョイントリサイタル、研修会、ティータイム・コンサート、会報編集、幹事会や総会の

開催にとりくみ、年長者がしっかりとサポートする…。

園子 このチームワークあつてこそ、どの催しも盛況で好評をいただることがで

きた、と自負しております。そして、三同窓会による第三回合同総会も、無事に終了しました。有能な人材に恵まれたにて、センスと工夫に富むりべるて、音楽企画力のあるFグループが、For Othersの精神のもとに学んだ三姉妹として「致協力」、「フェリスはひとつ」の心を示すことは、少子高齢化の進む社会では、ますます意義深いものとなつてしまふことでしょう。

Fグループの皆さま、同窓会活動にいつもご理解ご協力を寄せくださいますよう、あらためてお願ひ申し上げます。

音楽学部の新体制

音楽芸術学科教授 秋岡



音楽学部の新体制がスタートしました。「音楽芸術学科」と「演奏学科」の二

学科体制です。受験生の反応は? それが、予想を上回るの大人気! 若い人たちの期待に沿つた改革ができました。その期待に応える責任を感じる昨今です。

「音楽芸術学科」の入試は学科試験が中心で、実技試験や楽典・聴音の試験はあります。また、今年度からセンター試験も利用できます。いっぽう「演奏学科」の入試は、従来どおりの音大型の入試です。新体制に関する詳細は以下のホームページで!

「音楽芸術学科」は、社会と音楽とのかかわりを意識したりベラル・アーツ型の新学科。クラシックに加え、ポップス、音楽ジャ

2004年 音楽の贈り物

ジョイントリサイタル

04年9月23日 フェリスホール



研修会「モーツアルトの演奏とお話し」

04年10月11日 フェリスホール

奏(47回) *下グループアンサンブル(弦楽合奏)指揮・久山恵子、特別出演・藤村俊介
(担当 上月早苗・23回)

(担当 榊原緑・28回)

国際的に活躍
されているピアニストの深澤亮子先生をお招きし、研修会を行いました。深澤先生の美しいピアノの音色に憧れを持ち続けているファンの方々、熱心な指導者の方々、またその生徒の皆様、そして大学音楽学部の卒業生及び在校生の皆様と、当日はフェリスホールが270名のお客様で一杯になりました。

ジョイントリサイタルの出演者は11回から53回生までと大変幅広い方々による演奏会でした。お客様も220名と大盛況となりました。

声楽が三組、ピアノが二組に加え、大学のチヨの藤村俊介先生が特別出演して下さった弦楽合奏という六組の演奏が披露されました。それぞれの出演者がそれぞれ違った形で研鑽を積み重ねて、魅力的な演奏を聞かせて下さいました。

卒業生にフェリスホールに足をお運び頂き、卒業生の活躍ぶりを聴きにいらして下さいます

今年も一人でも多くの卒業生にフェリスホールに足をお運び頂き、卒業生の活躍ぶりを聴きにいらして下さいます

【出演者】*佐々木孝枝(ソプラノ独唱・53回) 小坂朋子(ピアノ伴奏・52回) *山本訓仁子(ピアノ独奏・52回)
*小泉翠子(ソプラノ独唱・21回)・河田康子(ピアノ伴奏・22回) *藤田和恵(ソプラノ独唱・34回)・田部井美和子(ピアノ伴奏・35回)
*岩崎真由子(52回)・山崎佑希子(53回)

のが印象的でした。演奏後、先生より「モーツアルトを演奏する時に気をつけたい諸問題について」と題してモーツアルトにまつわる興味深いお話を聽講致しました。一時間半、大変有意義で満ち足りた時を過ごすことが出来ました。

(担当 榊原緑・28回)

ツアリストを演奏する時に気をつけたい諸問題について」と題してモーツアルトにまつわる興味深いお話を聽講致しました。一時間半、大変有意義で満ち足りた時を過ごすことになりました。

（担当 上月早苗・23回）

（担当 榊原緑・28回）

（担当 清水千晴・52回）

Fグループ2005年度コンサートのご案内

ジョイント・リサイタル

9月23日(金・祝) 14:00開演
於:フェリスホール ¥2,000

【出演者】ピアノ:伊賀香織(51回)・細川由紀(52回)
麻田絵里子(53回)、クラリネット:戸張有香(54回)
声楽:岩崎真由子(52回)・山崎佑希子(53回)



ティータイム・コンサート

04年11月4日 山手632教室

現音楽学部長の渡邊明先生をお迎えして、「高田三郎作曲、石川啄木の短歌による歌曲」の演奏とお話をしていただきました。伴奏は29回卒の小林周子さん。平日にも関わらず5回卒から新

教室という先生にとても近い環境の中で演奏とお話を聞く事ができ、聴きにいらした方々から大変に好評をいただきました。その後カラテラスフェリスのおいしいケーキをいただきながら、語らいの時間を過ごしましたが

渡邊先生とお話をしたいという方々で先生の前に並んで並んでいました。お帰りになる皆様の顔はいずれも楽しそうで、皆様それぞれに素晴らしい時間を過ごせたのではないかと思います。

(担当 清水千晴・52回)

研修会 シユーベルト「冬の旅」演奏とお話し

10月10日(月・祝) 14:00開演
於:フェリスホール ¥1,000
講師:渡邊 明先生 ピアノ:宮城令子
退職を控えた渡邊明先生から同窓会への贈り物!
円熟の歌声と解説でシユーベルトの名曲を聴く。

ランチタイム・コンサート ニューエイジ・ミュージック、そして韓国との出会い

11月10日(木) 11:30開演
於:フェリス女子学院大学山手632教室 ¥1,000
講師:中村由利子(30回)
'04年秋から日本人音楽家として初めて韓国ドラマの音楽を担当する等、映画やラジオ、様々なメディアの音楽を手掛ける中村由利子氏を講師に迎えます。
(申込先着50名)

《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時~17時)
Tel/Fax:045-681-6740

卒の方まで47名の方々がいらっしゃいました。

まず石川啄木の生涯に触れた後、今日歌われる歌曲の解釈をして下さったのですが、渡邊先生のユーモア溢れるお話しに会場は笑いに包まれました。その後教室ではもつないお声で、情緒たっぷりに全曲歌つてくださいました。又最後に一曲解釈つきでアンコールがありました。

支部だより

北支部

北副支部長 平岩 由美子（24回）

北支部が発足して何年になるのでしょうか。今回初めてFグループの総会に出席させて頂きました。緑園校舎も初めてです。緑園都市の駅を降りて校舎へ向かって歩いていくと緑に囲まれたところに、フェリス校舎はありました。山手校舎もまわりの景色があまりにも素敵だった思い出がありますが、緑園校舎も素晴らしいところで、フェリスのセンスの良さに感心いたしました。

北支部は同じ場所に集まり一緒にコンサートをするような計画は難しいものを感じます。しかし、私の知っている限りでは、同窓生の皆さん一人でも立派に演奏活動を行って、地域ではフェリスの名は大変良い印象を持っています。同窓生個人が卒業後も勉強を続け活動していくことができれば、それがフェリスへの信頼に繋がるのではないかでしょうか。

北支部では仙台で集まり具体的な活動の相談をしました。そして支部長の工藤さんがなさっているハロックダンスを習いたい、先生をお呼びして講習会を計画しよう、ということになりました。場所や期日はこれから検討していきます。北支部の皆さん、それぞれの地域で頑張っています。

り盛會に終わりました。

中部支部

中部支部長 牛込 まり（25回）

中部支部は、年3回の演奏会を開催しています。

一つ目は、7月のふれっしゅ・コンサート。レベルが本当に上がってきてるので実感しますが、出演者がなかなか決まりないのが残念です。

卒業してすぐの機会をもっと利用して、いい演奏を良いホールで、今までお世話になった地元の先生方や知り合いの方に聴いて頂きたいと思っていますが…今年は全員ピアノになりました。

二つ目の主催演奏会は、12月2日の予定です。前半は卒業生のピアソロとトリオ、後半は黒川先生の伴奏で藏田先生に「詩人の恋」を歌っていただきます。

今から大いに期待しています。昨年の平松先生の演奏も大好評でした。卒業してしまった、同窓生の皆さんのがフェリスの先生の演奏を聞く機会がなかなかないかもしれません。良い機会ですので、たくさんの方に来て頂きたいと思っています。三つ目は子ども達のコンサートを催しています。昨年度は人数も何とかたくさん集ま

中部支部も、役員にボランティア精神で何かももしていただき、申し訳ない状態が続いている。活動を続けていく事は大変ですが、なんとか頑張っているところです。

関西支部

関西支部長 小川 真紀子（23回）

昨年度は11月10日に岡野学院長をお迎えして、Fグループ11名の同窓会を神戸で行いました。（47名中F

母校から遠く離れて何かと情報不足になりますが、ちがちな関西・四国地方の同窓生にとって、現役の学院長から母校の現状を伺うことが出来たことは、大変有意義でした。

又一方、時々は音楽科らしいFグループだけの同窓会も行つたほうが良いのでは…といふ意見が出、次期役員さんが今年の4月21日「わらうた」のうた遊びを体験するF

グループだけの同窓会を京都で開催して下さいました。横浜から小野和子さんもわらべうたの小道具を持参してご参加下さり、

岡の「あいれふ」ホールにおいて現在学中の学生数名の方々と黒川・藏田両先生によるジョイント・コンサートが開催される予定です。

私達役員5名と連絡委員の方々で目下、その準備を進めています。フェリス女学院音楽学科の現状をよりよく知って、理解を深めていただけるよい機会だと思われますので、こちらの会員の方々にも協力を呼びかけてゆきたいと思います。秋以降は、来年

度に向けて会員相互の親睦を深めると共に、少しでも母校に対し協力してゆけるようなイベントを企画してゆけたらと考えております。

九州支部

九州支部長 牛島 悅子（19回）

る同窓会にすることが出来るのか、引き続き関西支部の課題となりそうです。



Fグループ九州支部は、昨年度（04年度）より、総会をフェリス女学院西南支部同窓会と合同で行っています。ちょうど音楽学部が当番の年ということで渡邊明音楽学部長をお迎えして、11月6日、レストラン「ひらまつ」において50名を越す出席者のもと大変盛況でした。先生には、フェリスの近況報告に加え、演奏までしていただきました。なお、伴奏は、本部よりわざわざ小林周子先生に来ていただき、お一人の息の合った演奏を楽しめました。とても樂しいひとときでした。

さて、本年度は今のところ9月19日に福岡の「あいれふ」ホールにおいて現在学中の学生数名の方々と黒川・藏田両先生によるジョイント・コンサートが開催される予定です。私達役員5名と連絡委員の方々で目下、その準備を進めています。フェリス女学院音楽学科の現状をよりよく知って、理解を深めていただけるよい機会だと思われますので、こちらの会員の方々にも協力を呼びかけてゆきたいと思います。秋以降は、来年度に向けて会員相互の親睦を深めると共に、少しでも母校に対し協力してゆけるようなイベントを企画してゆけたらと考えております。

2004年度会計収支報告

<収入の部>

| 項目 | 予算額 | 決算額 |
|------------|-----------|-----------|
| 終身会費 | 4,000,000 | 4,000,000 |
| 研修会会費 | 100,000 | 157,000 |
| ティータイム会費 | 30,000 | 57,000 |
| ジョインドリサイタル | 280,000 | 320,000 |
| 宛名シール | 15,000 | 26,810 |
| 雑 収 入 | 50,000 | 51,360 |
| 小 計 | 4,475,000 | 4,612,170 |
| 前年度繰越金 | 2,071,730 | 2,071,730 |
| 収入の部合計 | 6,546,730 | 6,683,900 |

<支出の部>

| 項目 | 予算額 | 決算額 |
|-------------|---------------|---------------|
| (1)運 営 費 | [1,170,000] | [1,915,992] |
| 会議費 | 30,000 | 13,401 |
| 印刷費 | 60,000 | 58,378 |
| 通信費 | 10,000 | 16,222 |
| 往来文書費 | 400,000 | 342,320 |
| 交際費 | 80,000 | 51,653 |
| 会員費 | 50,000 | 45,018 |
| 学年幹事会費 | 80,000 | 18,880 |
| 特別委員会費 | 330,000 | 297,480 |
| 予備費 | 70,000 | 58,060 |
| 特 别 委 員 会 費 | 30,000 | 12,500 |
| 予 備 費 | 30,000 | 2,080 |
| (2)活 動 費 | [3,130,000] | [2,433,548] |
| 総会関係費 | 600,000 | 479,421 |
| 研修会関係費 | 300,000 | 300,000 |
| ティータイム関係費 | 130,000 | 108,756 |
| 会報関係費 | 750,000 | 626,380 |
| ジョインドリサイタル | 300,000 | 236,201 |
| リサイタル後援費 | 100,000 | 40,105 |
| 支部関係費 | 600,000 | 443,260 |
| 慶弔関係費 | 150,000 | 188,695 |
| 予備費 | 200,000 | 11,030 |
| (3)諸 会 費 | [670,000] | [370,000] |
| 金 同窓会費 | 70,000 | 70,000 |
| 130周年募金 | 600,000 | 300,000 |
| (4)積 立 金 | [750,000] | [750,000] |
| 名簿積立金 | 50,000 | 50,000 |
| 積立金 | 700,000 | 700,000 |
| (5)予 備 費 | [826,730] | [0] |
| 支 出 合 計 | 6,546,730 | 4,469,840 |
| 剩 余 金 | | 2,214,060 |
| 支出の部合計 | | 6,683,900 |

監査の結果、妥当かつ正確であったことを確認しました。

Fグループ会計監査 熊本 美也子
有坂 緑

「音楽学部推薦入試へ向けて」 フェリス音楽教室(山手) 受験科体験教室 生徒募集

日時：2005年9月3日(土)

山手校舎5号館

高3以上 15:40～18:40

高1・高2 16:50～18:30

お問い合わせ

9月3日以降のお問合せ(土曜日のみ)

045-641-8396

フェリス音楽教室

from
once a student

卒業生だより

山と湖の美しい街、チューリヒでは緑の季節を迎えました。

フェリスを卒業し、憧れていたヨーロッパの文化に触れてみたいと日本を発つたのが丁度96年の9月

30日、デュッセルドルフの空港に夜

遅く着いた時、冷たい雨が降っていたのが忘れられません。年月が経ち、その後スイスに住む事になるとは、その時は想像すらしませんでした。ドイツ・デトモルト音楽大学で学び、同大学ピアノ科助手として学生を指導する経験を経たのち、文化庁の在外研修員としてスイス・チューリヒ音楽大学で勉強、現在、同校の講師として勤務しております。自己主張を持って張り切って楽しみにやつてくる学生との時間はとても充実しています。ソロに加えて室内楽ピアニストとしての活動もあり、忙しい大学の仕事と両立

生としてこんなうれしいことはないと感慨深く存じました。今の私を支えてくれている、フェリスのお教え、そして先生方、友人に達に感謝の気持ちで一杯です。次回の帰国折に、懐かしい山手の丘を歩き、学生時代に戻るのを楽しみにしております。

大橋 雅子(43回)

現在、チューリヒ音楽大学講師。第8回黒田高弘賞第2位。ドイツ藝術流会コンクール第2位。

スイス・ドゥットヴァイラー・ゴンクールでは最も優れたピアノ伴奏者に贈られる特別賞を受賞。イタリア・バドヴァニア国際音楽コンクール優勝。

新役員紹介

担当 小泉紀久江(46回)

会計 小西 和代(22回)
常任 小林真理子(21回)

会計 小西 和代(22回)
常任 小林真理子(21回)

学年幹事会

05年3月3日 山手632教室

させるべく奮闘中です。最近ジュネーブの日本総領事館にて中田喜直先生の作品を現地在住の歌手の方と演奏し、大勢の各国大使と在イスラエルの方々が国を越えて感動され、涙されておられるのを見て、フェリスの授業での中田先生のお姿を思い出し、卒業生としてこんなうれしいことはないと感慨深く存じました。今の私を支えてくれている、フェリスのお教え、そして先生方、友人に達に感謝の気持ちで一杯です。次回の帰国折に、懐かしい山手の丘を歩き、学生時代に戻るのを楽しみにしております。

25名の学年幹事が出席し、学年幹事会が行われました。04年度一般会計収支報告(仮)・会計監査報告・05年度一般会計収支予算書(案)報告・04年度活動報告とそれらの承認・各役員報告等が行われました。

会は滞りなく進行し、ティータイムを楽しんだ後、和やかな雰囲気の中、閉会となりました。

2000円

ご希望の方は 事務局まで
まだお持ちでない 方にお勧めの一冊!

創設の苦難の時代から40年余にわたる音楽科の歩みに90年音楽学部発足からの10年間を追跡。各年のデータベース付。



同窓会支部だより

東京支部

初夏の爽やかな風の中で、今年のおたよりを書いております。手許にこの会報が届く頃の暑厳しい季節を思い、みなさまのご健康をお祈りしながら、東京支部のご紹介も3度目になりますので、今回は年間の催し物について、少し具体的にお伝えいたします。

昨年の秋11月半ば、氣仙先生の読書会（民芸について）の流れで、益子へ日帰りバス旅行を致しました。今年の前半は初春歌舞伎から始まって、勘三郎襲名が、3月、4月、5月と3カ月延べで300名を超えるご参加を得ました。また、4月8日（金）には江ノ島へ春の遠足をいたしました。現地集合という事で、湘南方面の方々が多くいらしてくださいました。中でも長谷にお住まいの90歳という方が見えて、おどろきしく存じました。昨年の呼びかけに応じての新入員の方からも参加者がございました。

他に研修会として、氣仙先生の読書会、今回からは一遍上人語録等）が年2回、ビデオによるオペラ鑑賞会（プリントによる解説つき）が年3回ございます。この二つの集まりは、地味ですが少しづつ人数が増えております。お問い合わせは左記へ。

最後になりましたが、今年の総会（10月5日（水）には田中順先生のディジーライクラブが出演され、美しい女声コーラスを聞かせて下さることになつております。お問い合わせは左記へ。

関西支部

昨年の総会は神戸で開催され、六甲山の麓天候にも恵まれ、四十名以上の方々がお集まりくださいました。また、岡野学院長先生をお迎えして総会を催すことが出来ました。先生はとてもお人柄がおやさしく、心温まるお話をや、フェリス女学院の近況などもお聞かせ下さい、共に楽しい時間を過ごし、雰囲気を盛り上げて頂きました。

総会ではチャンバロ奏者の山名朋子さんが、ピアノで贊美歌を伴奏してくださいり、和やかななか総会は進行してゆき、時を忘れて歓談されている皆様のお顔はとても楽しそうで輝いて見えました。

先輩後輩、年の差はほとんど感じられず、同じ学び舎で過ごした人々との交流が、今でも続いていることはすばらしいことと思っております。

今年の総会は、京都での開催を予定しています。京都を存分に味わっていたいと、京都らしい風情のある場所を予約しています。京都の美しい紅葉を楽しみにお出掛けください。

関西在住以外の方にも参加して頂きたいと思っていますので、ぜひ沢山の方々のご連絡をお待ちしております。

日時：平成十七年十一月九日（水）
場所：建仁寺 祇園「丸山」
問合せ先：阪本清美（71E）

中谷直子（77E）

澤崎玲子

西南支部長 木村朱美

西南支部

昨年の西南支部同窓会総会は十一月音楽科の渡邊明先生と同窓生である小林周子先生をお招きし“ひらまつ博多”にて行いお二人のミニ演奏会も開催されました。ダンディな先生の素敵なお歌と周子先生の演奏に出席者一同満たされました。

渡邊先生には学校の近況報告もして頂き、遠く離れた年月も経たフェリスですがいつも身近に感じる事が出来ます。音楽科がお当番で出席者は六十名と盛会でした。支部長として五年目に入り今年も秋に総会を予定し楽しく過ごして頂きたく書記や会計、幹事の方の協力を得、準備を進めております。幹事は各科持ち回りで今年は初めて国文科単独での当番としました音楽科独自の総会を本部と同様に合同で、という我々の申し出を受けてくださる事になり会員の方々の負担を減らすことにも努力致しました。

出来るだけ多くの同窓生にお声を掛け母校や支部の様子を知つて頂きたいと現在六百名程にご案内を出しております。生涯学習課主催の演奏会は昨年の六月あいれふホールにて行われ三宅様名先生平松英子先生そして黒川浩先生の素晴らしいお詫びお歌と演奏で満員のお客様と和気あいあいとした雰囲気で支部としてのお手伝いも楽しくさせて頂きました。本年度は九月に音楽科主催の、先生と学生のジョイントコンサート”が予定されております。総会には勿論の事コンサートへの多数のご参加をお待ちしております。

白菊会からのおさそい

緑の風が山手の丘を渡る心地よい初夏の日、六月の第二土曜日の総会から、白菊会の今年度の活動がスタートしました。White Daisy Fair のご案内をいたしますので、どうぞお誘い合わせてお出かけください。

カイパー サタデー コンサート

VI 2005年11月26日(土) 13:00
渡邊 慶子(ヴァイオリン)
花崎 薫(チェロ)
渡邊 順生(フルテピアノ)

VII 2006年3月25日(土) 13:00
海津 幸子(ピアノ)
石井 正美(ピアノ) ほか

フェリス女学院カイパー記念講堂
JR石川町南口 MM線 元町中華街下車
全席自由 3,000円(学生券 1,000円)

主 催 フェリス白菊会 後 援 フェリス女学院中学校高等学校
問合せ 同窓会室(火・木 在室) TEL 046-641-5200
収益はフェリス女学院中学校高等学校に寄付いたします

●同窓会は外国にもあります

フェリス女学院同窓会主催

クリスマス礼拝

《日 時》

2005年12月10日(土)

午前 11時～12時

《場 所》

フェリスホール

《説教者》

フェリス女学院大学

前学長 佐竹 明先生



2004年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告
(2004年4月1日～2005年3月31日)

| | |
|----------------|-----------|
| 前年度繰越金 | 733,982 |
| 同窓会維持費 | 280,000 |
| 利息 | 10 |
| 小計 | 280,010 |
| 合計 | 1,013,992 |
| 中島省吾先生退任感謝金 | 200,000 |
| 大原正美評議員花代 | 20,000 |
| 各支部（東京、関西、西南） | |
| 総会祝金 ￥20,000×3 | 60,000 |
| 送料 | 1,040 |
| クリスマス関連費 | 89,210 |
| 雑費（祝儀袋） | 210 |
| 会議費 | 2,800 |
| 合計 | 373,260 |
| 翌年度繰越金 | 640,732 |

●「カフェテラス フェリス」より



今現役教員（中学・高校）OGのネットワーク作りの準備をしています。氏名・連絡先・赴任校・担当科目・卒業年度をお知らせ下さい！

緑園キャンパス・教職センター
住所：横浜市泉区緑園四一五二三
電話Fax
○四五一八一二一八一九三九四七三

この利用は土曜日は年間を通して、
また3月の春休み・8・9月の夏休み期間にはウ
ークデイもご利用いただけます。店内ショップでは、
フェリスマーク入りマグカップ（350円）、フリスベ

ーク（350円）、ランチタイムやティータイムに皆様
のご利用をお待ちしております。

クラス会でのご利用は土曜日は年間を通して、
（お問い合わせ）予約は月～金11時より5時の間にお
願いいたします。
（責任者 横山）

《個人情報保護法に関する事項》
この度、同窓会では、四月より完全施行の
個人情報保護法に基づき、会員の個人情報
に関して、今後も同窓会の情報発信以外の
目的には使用しない」と、又、情報の安全管理
体制の強化を学院の指導のもと図ります。
したじことを改めて、お知らせいたします。

香山リカ氏
十一月六日（日）十三時三十分
会場 グリーンホール 入場無料

開催日時：十一月五日（土）・六日（日）
十一時～二十時（両日出店は十七時まで）
開催場所：緑園キャバス
主な講演：「アーティストによるために」
香山リカ氏
十一月六日（日）十三時三十分
会場 グリーンホール 入場無料

大学祭

FERRIS FESTIVAL 2005

入学案内

フェリスの入試が大きく変わります！
本学では、「〇〇六年度入試から、「秋期
特別入試」と「大学入試センター入試利
用入試」を新規に実施します。

入試日程・イベントなどに関する情報
は、大学Webサイト「入試インフォメーション
ヨン Ferris NAVI」をご覧ください。

サークル紹介

英語読書会

指導 吉野洋子先生
日時 第三水曜日 十時半～十二時
場所 中高同窓会室
連絡先 伊藤 真美

永眠者(お届けのあつた方)

りてら

吉田 悅子姉(72E) 一九九五
深川 香苗姉(98S) 一〇〇三・一〇・一四
木暮 素子姉(60E) 一〇〇四・八・一七
松本久美子姉(69J) 一〇〇四・一〇・二
冬梅 洋子姉(64E)
高橋 京子姉(70J)
香東世以子姉(71E)

片柳美和子姉(66E) 一〇〇三・一一・八
素子姉(60E) 一〇〇四・八・一七
森川 香苗姉(98S) 一〇〇三・一〇・一四
栗居 洋先生
第三水曜日 十時半～十二時半
十二月はお休み
中高同窓会室
数原安子(54)

書道サークル

初心者の方でも気軽に入会できます。
日時 第四水曜日 一時～四時
場所 大学山手六号館別館二階
連絡先 望月幸子(56E)

世界史講座—キリスト教と世界史—

指導 棣居 洋先生
日時 第三水曜日 十時半～十二時半
場所 同窓会室
連絡先 望月桃仙先生
りてら同窓会室

緑園書道サークル

指導 田中 順先生
日時 月・回水曜日 一時半～三時
場所 白菊会同窓会室
連絡先 鈴木道子(S41)

デイジーグリークラブ

◆10月24日 ピアノ特別公開講座 フェリスホール
講師:クリストフ・リースケ氏
開演 19:00 料金 ¥1,000
◆12月15日 第26回クリスマスコンサート 神奈川県立音楽堂
クリスマスマオラトリオ(4～6部)他
出演 指揮:小泉ひろし
Sop.平松英子、Alt.未定、Ten.藏田雅之、
Bar.土屋広次郎、Org.宇内千晴、
Pf.落合 敦 ほか
開演 19:00 料金 ¥2,000
◆'06年3月8日「メサイア」 神奈川県立音楽堂
出演 指揮:小泉ひろし
Sop.平松英子、Alt.辻 真子、
Ten.藏田雅之、Bas.渡邊 明、
Cemb.浅井寛子、Org.宇内千晴
開演 19:00 料金 ¥2,000
問い合わせ:演奏委員会室 TEL 045-681-5189

Fグループ演奏会のお知らせ

◆9月23日 ジョイント・リサイタル フェリスホール
開演 14:00 料金 ¥2,000
◆10月10日 研修会 フェリスホール
シェーベルト「冬の旅」 演奏とお話
講師:渡邊 明先生、ピアノ:宮城令子
開演 14:00 料金 ¥1,000
◆11月10日 ランチタイムコンサート 山手6号館632教室
「ニューエイジ・ミュージック、そして韓国との出会い」
講師:中村由利子(30回)
開演 11:30 料金 ¥1,000
問い合わせ:Fグループ事務局 TEL 045-681-6740

詳細はP15に掲載

維持協力会ご入会のお願い

同窓生の皆様お元気で活躍のことと思います。

日頃より、維持協力会募金に対して、ご支援を協力させていただきます。

さて、先輩諸姉をはじめ多くの方々のお陰をもちまして、緑園体育馆が完成し、本年5月26日奉祝式を行いました。この体育馆は「エコ体育馆」と称して地球環境にやさしい、様々な取組みがほどこされています。また、諸施設が整備され授業、課外活動等学生にとってより充実した学生生活がおくれることと期待しています。

今後も施設充実のため、学院の将来、また後輩のため、維持協力会募金に支援をお願いいたします。さて、維持協力会では、会員になられました皆様に会員証を発行し、特典をご利用いただけますよう用意をいたしております。

(詳しくは案内書をご覧下さい)
事が出来ました。感謝です。
皆様に少しでも、学生時代を懐かしくて読んで頂けましたら嬉しく思います。
これからもよりよい会報を作つていただけると願っております。皆様の声をお待ちしております。

募金お問合わせ先
フェリス女子学院
本部事務局総務課
募金係

TEL ○四五一六六一～四五一
一〇〇三・七・一
渡邊高之助先生
ジエラール・ゼザー先生
中内 謙子先生
一一〇〇四・八・七
一一〇〇五・四・一七

編集後記

三回同窓会合同の会報も、「3号」を無事お届けする事が出来ました。感謝です。
皆様に少しでも、学生時代を懐かしくて読んで頂けましたら嬉しく思います。
これからもよりよい会報を作つていただけると願っております。皆様の声をお待ちしております。

天來の慰めをお祈りいたします。

フェリス女学院大学同窓会会報

二〇〇五年八月発行
担当・家政科同窓会
りてら ○四五(六六二)〇七五〇
Fグループ ○四五(八一)八六九二